

表4. スポットごとの現況評価、保全上の課題および求められる対策のまとめ。

現況評価区分	小生體系	スポットNo.	(要因) 課題の内容
維持 または おおむね維持	[ため池]	6, 7, 11, 13, 14, 15, 19, 21, 26, 31, 32, 34, 40, 44, 54, 55, 56, 59, 60, 82, 133	大きな変化はないなどの記述。
	[湿原]	43, 53	
	[社寺林]	47, 48, 51, 57, 85, 86, 87, 88, 97, 98, 122	
	[岩角地]	52, 116	
	[河川]	90, 104, 126, 134	
	[ため池]	5, 24, 27, 28, 29, 30, 41, 42, 61	希少種あり。人の手が入っておらず（高齢化含む）、管理不足。
	[社寺林]	93	
	[ため池]	25, 62, 128, 130	希少種あり。外来生物の侵入が見られる。
	[河川]	132	
	[河川]	50, 63, 80	希少種あり。
	[河川]	64	イノシシ、シカ、アライグマ
	[河川]	81	ツルヨシ、セイタカアワダチソウが生い茂っている
	[河川]	89	希少種あり。イノシシ、ヌートリア
	[河川]	108	自然環境は良好。イノシシ被害。
	[河川]	114	維持されている。
	[ため池]	17	管理されており希少種も多く良好な環境が保たれている
	[ため池]	22	外来生物の侵入が見られる。
	[ため池]	71	良好な状態
	[ため池]	123	景観は落ち着く イノシシ、シカ、アライグマ
	[湿原]	18	希少種あり
	[湿原]	67	良好な状態
	[湿原]	68	希少種あり。ニホンジカの分布拡大、ナラ枯れの放置あり。
	[社寺林]	69, 75, 77, 78, 99, 115	良好な状態
	[社寺林]	83	保護樹林。境内の緑地は保全されている
[孤立二次林]	109, 111	維持されている。今後が心配	
[孤立二次林]	119, 113	維持されている。	
[孤立二次林]	120	良好な状態	
[六甲山地]	135	良好な状態	
劣化	[ため池]	9	(管理不足・外来生物・野生生物) ため池としての利用が放棄されている。外来生物の侵入、鹿の食害もあり
	[ため池]	12, 35, 39, 129	(管理不足) ため池としての利用が放棄されている。このままではますます劣化。
	[ため池]	16	(管理不足) 周辺林の繁茂により日照不足で生物多様性が低下(管理不足)。
	[ため池]	23	(管理不足) 管理されている池もあるが山に近いところは放置されている
	[ため池]	38	(その他) 土木工事の跡が新しい
	[ため池]	49	(開発改変) 周辺の宅地開発による自然環境の激減
	[ため池]	101	(管理不足) 陸化して現在は水のない池となっている。
	[ため池]	121	(外来生物) 外来生物の侵入が見られる。
	[ため池]	131	(外来生物) 外来生物の侵入が見られる。(希少生物が減少しており、スポットとして適当か将来的に検討を要する。)

	[社寺林]	8	(その他) カシノナガキクタイムシによるナラ枯れ被害。
	[社寺林]	20	(開発改変) 道路拡幅工事によりヒノキモミ群落が消滅し点数が下がったが、希少種が残っている。
	[社寺林]	46	(その他) 動物・昆虫散見できない。
	[社寺林]	70	(管理不足) 貴重種があったと思われるが、確認できない。周辺の伐採が進んでいる。
	[社寺林]	79	(管理不足) 樹木が整理されていた。松枯れの倒木が目立つ
	[社寺林]	95	(開発改変) 周辺の宅地開発で緑地が減少している
	[社寺林]	96	(管理不足) 手が入り、すっきりしすぎている
	[社寺林]	100	(その他) 昆虫を見つけられず。
	[河川]	92	(開発改変) 河川改修が行われ、8割近くが三面張りとなった
	[河川]	94	(管理不足) 前回確認していた動物が確認できない
	[河川]	105	(開発改変) 河川改修で半分がなくなる。時間とともに復元の見込みあり
	[河川]	118	(開発改変) 大きく改変され、かつての植物は消失している。
	[河川]	124	(開発改変、野生生物) 希少種確認できず。イノシシ、シカ
	[孤立二次林]	<u>72</u>	<u>(開発改変) 調査地の7割が宅地となっている。河川の周りに緑地がのこるがわずかである。</u>
	[湿原]	65	(管理不足) 倒木や高い草に覆われている。谷筋は倒木、乾燥化の様子がみられ陸化が予想される
	[湿原]	<u>66</u>	<u>(管理不足) 松枯れや倒木によって湿地の状態は悪い。今後、この状況が続くと貴重な湿原が消失するかもしれない</u>
	[放棄水田]	102	(管理不足) 陸化し、水路はイノシシのヌタバになっている。
変質	[ため池]	1, 37	(管理不足) ため池としての機能は失われているが、希少種が見られ保全に値するスポット。
	[ため池]	3	(管理不足) ため池としての機能は失われているが、間伐等を行えば湧水湿原として生物多様性の向上が可能。
	[ため池]	<u>125</u>	<u>(管理不足) ため池は消滅しているが、元水田には豊富で多種多様な湿地性植物群がある。絶滅危惧種も多く見つかり貴重な湿原である。</u>
	[湿原]	58	(管理不足) 荒れている。倒木などあり
消失	[ため池]	2, 4, 36、91	(管理不足) 消失しており復元は見込めない。
	[ため池]	33	(管理不足) ため池としては消失しているが、横の池には希少種がある。
	[孤立二次林]	<u>112</u>	(開発改変) すべて宅地となってしまっている
	[放置水田]	103	(開発改変・野生生物) 耕地改善で放置水田がなくなる。イノシシ、シカ(聞き取り)の出現

* 赤字修正箇所

* No.136, 137, 138, 139, 140については、2011年度調査がないため評価できない